

町内学校給食に寒川産野菜を!!!

事業実施主体:寒川町(神奈川県)

- 寒川町では、町民の健康を維持及び増進する施策や事業を計画的に進める「さむかわ元気プラン」を定めており、全ての町立小中学校において「食に関する指導の全体計画」を毎年策定している。全体計画の目標の1つとして地域の産物に関する理解等を位置づけており、学校給食における取組として、地場産の奨励も位置づけ取り組みを継続している。
- 今回、学校給食における地場産物活用の促進に向けたマッチング調査・調整、JAとの農家訪問、及び、寒川町農政課との連携等を実施した。学校給食コーディネーターを中心とした地場産物促進体制を作り、地場産物の中でも特に寒川産物の納品ができるように取り組んだ。



【取組の内容】

- マッチングの情報共有および調整のための会議を実施。
月1回程度の間隔で、コーディネーター、委員会、農協の3者で、納品方法、納品数量、生産者の取込手法等を検討。
- 学校給食献立に対する納品物資を検討し、マッチングに向けた生産者との面談等を実施。
地場産物として提供可能な農作物と、現在提供している学校給食における献立の使用食材を比較検討し、生産者が継続的に提供でき、給食用食材として利用ができる体制を面談等ですり合わせを行った。

- 産地や生産者を意識して農林水産物等を選ぶかアンケートを実施。

町政記念として、寒川町産野菜(白ネギ・しいたけ・ほうれん草)を主に使用し考案した特別メニュー(「高座」のころ。鍋)を町内小学校全5校にて1回ずつ給食提供を実施。その後、町内直売所にて、町内小学校に通う児童の保護者からのアンケートを実施。



特別メニュー(「高座」のころ。鍋)
給食盛り付け例

【取組の成果】

- 本事業を通じ、寒川産食材を給食に活用及び納品できる体制づくりができた。
- 令和5年度二学期からの給食センター本稼働に向け、さがみ農協と連携しセンターでの本格納入に先行してプレ出荷を実施した。その結果、寒川産野菜を多く給食に使用することができた。

- 学校給食における地場産物活用の促進

- (1) 地場産物の内、寒川産物の使用回数の増加
… 事業実施前：40回/5校 ⇒ **121回/5校**(目標50回・達成度242%)
- (2) 地場産物献立等に関する食の指導回数の増加
… 事業実施前：1回/月 ⇒ **4回/月**(目標3回・達成度133%)
- (3) 産地や生産者を意識して農林水産物等を選ぶ者の割合の増加
… 事業実施前：73.5% ⇒ **90.0%**(目標81%・達成度111%)

